



七夕祭

御旅社七夕祭のご案内

本年も七月六日〜七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は日本古来の天棚機比売（あめのたなばたひめ）の伝説と大陸の牽牛織女（彦星と織姫）の伝説が相まって生まれた信仰といわれ、技芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹の葉に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当神社の御旅社において執り行われる七夕祭は、京都の北野天満宮に七月七日に行われる「御手洗祭（みたらしさい）」に倣い、神前に書道具を並べ供え、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達を願い、また、御手洗の字の如く、心身の清浄を祈願致します。また、末社に玉姫稻荷神社という縁結び、女性守護の神さまをお祀りする所以から、縁結びにも御利益あらたかなるといわれ、特に若い女性からの信仰篤く、毎年、七夕祭の日には大変な人出で賑わいます。当日は、夕方午後四時から短冊奉納（各色一枚百円）などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願い事を胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭

日時 平成二十六年 七月六日〜七日

午後四時〜午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

歯神祭のご案内

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）
日時 平成廿六年六月四日（火）午前十一時
場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社
（ユニクロ梅田店 入口 右横）
備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。
お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

後西天皇さまと天神信仰

今号で当社報は一一一号となりました。この一一一にちなんで、第一一一代天皇であらせられた後西天皇さまについてのお話です。後西天皇さまは、今から三六〇年前の、江戸幕府の基礎が固まった承応三年（一六五四）に御即位。その時まだ十七歳であられました。まだ若年という事もあり、その頃は筆運びが苦手であられたようで、書の師であった白河惟喬公にも指導された事もありました。しかし、そこから大変な努力を積み重ねられた結果、数年後には師である白河公も驚く程の上達を遂げられ、現代では能書家としてはもとより古典全般に精通された、努力家の天皇さまとしても知られています。

そういった学問へお心を寄せられた縁から、天神さまを篤く崇敬され、現在も京都の北野天満宮の三光門に掲げられる「天満宮」の勅額は、後西天皇さまが奉納された宸筆です。例え苦しい事であっても、天神さまの御神徳に心支えられ、努力を積み重ねる事で、結果はついてくるといふ事を身をもって体現された天皇さまであらせられました。

震災義援金ご報告

今年二月十一日から四月中旬まで当宮御旅社の社頭で募っておりましたが、東日本大震災義捐金ですが、約二ヶ月間で一七三二九円の募財が集まり、被災地神社の春祭りの時期である五月初旬にお送りさせて頂きました。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

